

令和二年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ブラワヨ市ムピロ中央病院におけるジェンダーに基づく暴力被害者のためのクリニック建設計画」引渡式

4月25日、令和二年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ブラワヨ市ムピロ中央病院におけるジェンダーに基づく暴力被害者のためのクリニック建設計画」により、ムピロ中央病院内に新たに整備されたクリニックの引渡式が開催されました。田中大使、女性・コミュニティ・中小企業省政府関係者、NGO「ファミリーサポートトラスト」ムチグリ代表、病院職員及び関係者が出席しました。

同プロジェクトでは、ムピロ中央病院で活動しているNGO「ファミリーサポートトラスト」へ、我が国から、90,909米ドルが助成され、ジェンダーに基づく身体的暴力、精神的暴力や性的暴行など（GBV）の被害者に対し治療やカウンセリングを提供するとともに、GBV防止を啓蒙する拠点となるクリニックが建設されました。

同団体は、ムピロ中央病院にて、GBVの被害にあった少女や女性を長年支援してきました。しかし、治療やカウンセリング、待合室のスペースが少なく、遠方から支援を求めにきた被害者を待たせてしまうことも多くありました。また他の患者に目に触れる場所であることから、少女や女性たちたちのプライバシーを守れないことが課題となっていました。

新たな子どもに優しいワンストップクリニックには、カウンセリングルーム、検査室、記録保管室、トイレが用意され、治療やカウンセリング、精神的サポートなど、包括的なサービスがワンストップで受けられるようになりました。年間2000名のGBV被害者に対応するとともに、2万人以上の住民にGBVに対する社会的規範を変えていくための啓発活動を行う予定です。

式典では、田中大使より、新しいクリニックに祝意を示し、GBV被害者が適切な治療を受けられ、ジェンダーの平等が促進されることを期待するとともに、GBVがない世界になるようNGO「ファミリーサポートトラスト」や地方行政、コミュニティや被害者保護者等の関係者のオーナーシップをもってほしいと述べました。



祝辞を述べる田中大使



引渡式に出席した関係者



新しく建設されたクリニックの説明を受ける田中大使



新しく建設されたクリニック



引渡式に出席した関係者と集合写真



カウンセリングルーム